

第6学年1組 音楽科学習指導案

平成24年5月29日(火) 第3校時

授業者 教諭

場 所 第2音楽室

1 題材名 「曲想を味わおう」

教材 「きみのかわりはいないから」 新沢としひこ 作詞 氏家 晋也 作曲

2 題材の目標

- ・曲想を感じ取って、表情豊かに歌おうとしている。(音楽への関心・意欲・態度)
- ・歌詞や旋律の動きから曲想を感じ取って、気持ちを込めた歌い方を工夫している。(音楽表現の創意工夫)
- ・語感や旋律の特徴を生かして歌うことができる。(音楽表現の技能)
- ・旋律の特徴や曲想の変化を感じ取って聴くことができる。(鑑賞の能力)

3 題材について

本題材では、歌詞が表す気分や情景を想像したり、曲想を味わったりしながら、やわらかく響く声で表情豊かに歌う活動を進める。「きみのかわりはいないから」は、喧嘩の後から仲直りまでの心情が描かれた二部合唱であり、旋律の動きや強弱、速度や調の変化などの様々な音楽的要素が一体となって曲想が醸し出される、ドラマチックな曲である。曲想を感じ取って表現する能力は、表現の質を高めていく上で欠かせないものである。そこで、子どもたちが曲想を感じ取るよりどころとして、本題材では、「歌詞の内容」と「曲のまとまりや旋律の動き」に焦点を当てて学習を進める。歌詞の内容から心の動きを感じ取って歌い方に生かしたり、曲のまとまりや旋律の動きが作り出す雰囲気を感じ取って表現したりさせたい。

4 児童について

「きみのかわりはいないから」は連合音楽会で発表する曲で、本学級はソプラノを担当する。本番に向けて意欲が徐々に高まり、きれいな声を意識しながら歌う子が増えてきている。その中で、支えが不十分なことによる音程の不正確さや、低音部の地声、高音部の声量不足などの課題がある。また、今回のような長く曲想の変化に富んだ合唱曲は初めての経験であり、歌い方を考える活動にも慣れていない。そこで、「音楽の仕組み」を理解したり、「音楽を特徴付けている要素」を感じ取ったりする、音楽が「分かる」ための知識を身に付ける指導と、音楽を表現することが「できる」ための技能を中心とした指導の両者を、段階を踏んで行う中で、曲想に合った表現を考えながら歌うことができるようにしていきたい。そして、この題材での学びを基礎として、今後学習を積み重ねることにより、音楽的な知識や技能を身に付け、それらを活用しながら意欲的に音楽にかかわり表現する子ども、すなわち、研究主題にある「未来につながる力をもつ子ども」が育つと考える。

5 指導について

本時では、リズムの変化や旋律の動きを確かめながら、正しい音程をつかんで歌えるようにする。電子黒板に保存しておいた前時の拡大楽譜を提示して振り返ったり、新たに書き込みをしたりすることにより、学習内容の焦点化や定着を図るようにする。また、声の出し方や表情も意識させながら、やわらかく響きのある声で歌うことができるよう指導・支援していきたい。その際、十分な歌唱時間を確保し、仲間と心と声を合わせて歌う喜びを十分味わわせることを念頭に置いて、活動を進めたい。

6 指導計画（8時間配当）

- 第1次 曲全体の感じをつかもう。 (1時間)
 自分のパートの音程をつかもう。 (2時間 本時3/8)
 第2次 曲想に合った歌い方を考えて合唱しよう。 (5時間)

7 本時の目標

- ・リズムや旋律の動きに気を付けて、自分のパートを歌うことができる。

8 準備物

電子黒板，パソコン，ホワイトボード，提示用資料

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援 (・) と 評 価 (☆)
<p>○6月の歌「にじ」を歌う。</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> リズムや旋律の動きに気を付けて歌おう </div> <p>○前時の学習を振り返る。</p> <p>○リズムの変化や旋律の動きを感じ取って、正しい音程をつかむ。</p> <p>○リズムの変化や旋律の動き，発声に気を付けながら，全体を通して歌う。</p> <p>○次時の学習内容を知る。</p>	<p>・副旋律の音程を確認しながら，やわらかい声を意識して歌うようにさせる。</p> <p>・電子黒板に保存しておいた前時の楽譜を提示して振り返ったり，新たに書き込みをしたりすることにより，学習内容の焦点化や定着を図るようになる。</p> <p>・電子黒板の拡大楽譜で，リズムの変化や旋律の動きを確かめながら歌えるようにする。</p> <p>・声の出し方や表情を意識させて，やわらかく響きのある声で歌えるようにする。</p> <p>☆発声や発音を意識して，意欲的に歌っているか。 (活動の様子の観察…関・意・態)</p> <p>☆リズムや旋律の動きに気を付けて，正しい音程で歌っているか。 (演奏の聴取…技)</p>

10 授業の観点

- ・電子黒板の活用は，学習意欲の高まりや内容の焦点化，定着に効果的であったか。